

モニタリング結果報告書 (令和6年度)

1. 施設概要

施設名	座間谷戸山公園		
所在地	座間市入谷東1丁目地内		
サイトURL	https://www.kanagawa-park.or.jp/zamayatoyama/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(平成5年4月)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川県公園協会		
指定期間	R4.4.1～R9.3.31 (2022年) (2027年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (厚木土木事務所 東部センター)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<評価の理由> 利用状況の評価はS、利用者の満足度の評価はS、収支状況の評価はBで、3項目評価はAとなつた。	
<今後の課題・対応等> 指定管理者は、自然生態観察公園の意義を理解し、これまで築かれてきた県民協働による管理運営を着実に実践しており、来園者からの満足度は高い。園内におけるナラ枯れについては、調査や枯損木処理などの対策に積極的に取り組んでおり、優れた実績を収めている。また、公園まつりや自然観察会などのイベントを継続的に開催し、利用促進を図っている。 引き続き、この良好な管理運営水準の維持に努めるとともに、今後は災害に備える姿勢にも期待したい。	
<各項目の詳細説明>	
◆管理運営等の状況 本公園の自然環境を持続できるよう公園運営会議やボランティアと連携、協働し、丁寧な保全活動に取り組み、良好な公園づくりに繋がっている。園内のナラ枯れ対応については、来園者の安全確保の観点から、実態把握の調査や速やかな枯損木処理、トラップ設置の対策に積極的に取り組んでいる。	
◆利用状況 利用者数については、公園まつりやマルシェといった各種イベントが好調で、対前年度比96.7%、目標達成率も110.0%となりS評価となった。自然生態を活かした公園であり、利用者数は天候に大きく左右されるが、里山体験や健康づくりのプログラムを開催し、利用促進に取り組んでいる。	
◆利用者の満足度 「満足」「どちらかといえば満足」の回答割合が98.0%と高く、S評価となった。	
◆収支状況 収入は自販機利益が当初予算額を下回ったこと、支出は材料費や人件費の高騰に起因して施設管理や巡回警備委託の費用が増加した影響で、収支差額が2,662千円マイナスとなり、収支比率が96.06%となつたためB評価となった。	
◆苦情・要望等 園内禁煙の要望1件あったが、適切に対応した。 トイレや園内清掃状況など利用者が目につきやすい点についての苦情がなく、日頃の維持管理の成果が表れている。	
◆事故・不祥事等 指定管理職員による剪定中の事故が1件発生した。作業時の安全管理に留意し再発防止に努めてほしい。 また、夜間における施設破損が1件発生した。速やかな情報共有に努めてほしい。	
◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査及び労働基準監督署からの指摘事項はなかった。	
◆その他 なお、令和6年度の3項目評価についてはA評価とした。	

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。
A	S	S	B	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無	
現地調査等の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	毎月実施	適切に指定管理業務等が履行されていることを確認した。
意見交換等の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	毎月実施	月1回の月例業務報告時は対面にて意見交換を行った。その他、電話やメールにて施設の管理運営上の課題等を情報共有している。
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関するコメント
<p>明るく・安全・快適な里山環境の実現、里山体験の充実 ○長期的な視点に立った里山林管理 ○危険木の早期発見と継続的な危険木処理 ○自然観察会など里山を楽しむ様々な体験プログラム ○ボランティアと連携した里山林保全活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ナラ枯れの被害状況について県に情報提供をするとともに、指定管理者自らも枯損木処理やカシナガトラップ等の対策を実施 台風等で倒木した高木について速やかな処理を実施 毎月の自然観察会(103人)と、四季ごとのネイチャーゲーム(91人)を実施 里山保全隊による下草刈り等の保全活動を実施 	<p>ナラ枯れなどの危険木について、積極的に調査を行い実態把握に努めたことや、指定管理者自らも対策や処理を行ったことは評価が高い。</p> <p>今後も里山環境の保全・活用への努力と工夫に期待する。</p>
<p>生物多様性を持続させる細やかな管理の実施 ○ボランティアと連携・協働した動植物の調査・保全など ○生物多様性を低下させる外来生物の戦略的防除 ○園内で収穫した野菜などを「地域の子ども食堂に提供」 ○「やとやま学校」の開設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアと連携、協働した動植物のモニタリング調査及び保全活動を実施 トキワツユクサなどの外来植物の除去、アライグマ駆除を実施 園内で収穫した野菜やイベント参加の利用者から提供された食材をフードバンクに提供 やとやま学校の企画として「谷戸の自然とホタル観賞」などを開催 	<p>ボランティアと連携・協働しつつ本公園の環境を持続できるよう、丁寧な保全活動に取り組んでいる。</p> <p>今後も運営会議などを通じた良好な公園運営に期待する。</p>
<p>みんなでつくる、より良い公園づくり、多様な公園利用促進 ○谷戸山公園運営会議など市民参加型公園管理運営 ○地域や関係団体と連携したイベントなど ○外国人利用者、障がい者、子育て世代など多様な利用者ニーズへの対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> 年間6回の運営会議で、利用団体等との意見交換を実施 谷戸山公園まつり(参加者5000人)やツリークライミング体験(参加者20人)、座間市と連携した森林浴体験会(参加者17人)などのイベントやプログラムを開催 自動翻訳機や筆談器の設置や、熱中症対策としてミストシャワーの設置を継続 	<p>これまで築かれていく運営会議やボランティア団体との連携が継続され、良好な公園づくりに繋がっている。</p>
<p>施設の維持管理 ・施設の保守点検業務、小破修繕業務など ・利用者が安全快適に公園を利用し満足してもらえるような清掃管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> 間伐材を活用しベンチの更新やサインポストの更新 樹林地で滑りやすい木デッキ園路の清掃や滑り止めテープの設置 	<p>今後も発生材の有効利用や転倒事故防止など公園の特性を踏まえた対応に期待する。</p>

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
県立都市公園PRのためのカレンダーの有償配布を行った。	計画どおり事業を実施した。

6. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B： 85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性自立支援施設と県営住宅等が該当）。
S	

	前々年度	前年度	令和6年度
利用者数※	461,672	477,649	461,791
対前年度比		103.5%	96.7%
目標値	413,000	412,200	419,800
目標達成率	111.8%	115.9%	110.0%

目標値の設定根拠： 提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数と団体利用者数から推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 _____

<備考>

公園まつりやマルシェといった各種イベントが好調で、対前年度比96.7%、目標達成率も110.0%となりS評価となった。自然生態を活かした公園であり、利用者数は天候に大きく左右されるが、里山体験や健康づくりのプログラムを開催し、利用促進に取り組んでいる。

7. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容		実施結果と分析
	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施		

[サービス内容の総合的評価]

質問内容

公園の管理運営状況を総合的にみるといかがでしたか

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 206 / 209 = 98.6%

配布(サンプル)対象

公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があつた場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	155	47	2	1	1	206	・自然が豊かでよい ・ゴミ箱がない
回答率	75.2%	22.8%	1.0%	0.5%	0.5%		
前年度の回答数	162	54	5	2	1	224	
前年度回答率	72.3%	24.1%	2.2%	0.9%	0.4%		
回答率の対前年度比	104%	95%	43%	54%	109%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

「満足」「どちらかといえば満足」の回答割合が98.0%と高く、S評価となった。

8. 収支状況

評価	〔評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設〕 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務] (単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の主な内訳	収入合計		支出	収支差額
前々年度	当初予算	61,519	0	2,300	自販機 2,300	63,819	63,819	0	
	決算	61,519	0	1,975	自販機 1,975	63,494	63,210	284	100.45%
前年度	当初予算	62,788	0	2,300	自販機 2,300	65,088	65,088	0	
	決算	62,788	0	2,188	自販機 2,188	64,976	66,757	-1,780	97.33%
令和6年度	当初予算	62,788	0	2,300	自販機 2,300	65,088	65,088	0	
	決算	62,788	0	2,112	自販機 2,112	64,900	67,562	-2,662	96.06%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数 (単位:千円)

令和6年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

収入は自販機利益が当初予算額を下回ったこと、支出は材料費や人件費の高騰に起因して施設管理や巡回警備委託の費用が増加した影響で、収支差額が2,662千円マイナスとなり、収支比率が96.06%となつたためB評価となった。

9. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件	—	—
	件	—	—
職員対応	件	—	—
	件	—	—
事業内容	件	—	—
	件	—	—
その他	来園	1 件	・園内禁煙の要望
		件	・屋外は禁煙でないことを説明

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合には概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合には内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合にはその年月日を記入）
R6. 12. 8	①チェーンソーで剪定枝を裁断中に左手の人差し指と親指に刃があたり裂傷した。 ②12月9日電話とメールで確認。 ③耐切創グローブを着用し、剪定枝の添え手とチェーンソーの距離を十分にとることの確認など再発防止を図った。 ④無 ⑤耐切創グローブ不着用、体調不良。 ⑥無
R7. 3. 15	①何者かが夜間に四阿の屋根の鋼板をはがし破損させた（盜難なし）。 ②3月17日電話とメールで確認。今回のような施設破損が確認された場合は速やかに電話等で一報するよう指示した。 ③夜間巡回警備を継続するとともに新たに防犯カメラを設置して再発防止を図った。 ④無 ⑤何者かによる施設破損。補修は県が実施。 ⑥無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。